



International Exchange Bulletin

とちぎ国際交流

第35号

1995年(平成7年)1月号
編集発行

(財)栃木県国際交流協会
Tochigi International Association
〒320 宇都宮市昭和1-2-16
栃木県自治会館1階・3階
TEL (0286) 21-0777(代)
FAX (0286) 21-0951
相談専用電話 (0286) 27-3399



▲旧田母沢御用邸外観



▲謁見室

—NIKKO MUSEUM (THE FORMER NIKKO TAMOZ AWA IMPERIAL SUMMER VILLA)—

This building was commissioned as a summer villa for Emperor Taisho (the present Emperor's grandfather) and constructed on the frame of a building which was moved from the Akasaka Imperial Villa in 1898.

It was renovated in 1920. The site is 4,500m² and contains 106 rooms. Emperor Taisho spent every summer here until 1925.

After the end of World War II the villa became national property. To present the atmosphere of the Imperial Villa in the way in which it was once used, the reception room,

日光博物館 (旧日光田母沢御用邸)

この建物は、日光田母沢御用邸として、大正天皇の皇太子時、明治31年に、赤坂離宮から移されたものを骨子として建てられました。

大正9年に増改築が行われ、広さ4,500m²、部屋数106室あり、大正14年の夏まで毎夏をこの御用邸でお過ごしになられました。

昭和20年の終戦とともに国有財産になり、謁見室、書斎、御座所、寝室等の主要部分が、当時の姿のままで参観できるようになりました。また、日光国立公園内における地質や動植物を主題とした展示場も設けられ、日光の自然を観賞することができます。

►休館日=無休 ►開館時間=8:00~17:00 (4月~10月)、9:00~16:30 (11月~3月) ►入館料金=大人400円 小・中学生250円 ►所在地=日光市本町8-27
►電話=0288-54-1632

今号の主な内容

- ★国連全国中学生作文コンテストで
文部大臣賞受賞……………P 3
- ★栃木県内大学留学生情報……P 4
- ★入国管理局宇都宮出張所開設 P 8

study, sitting room and bedroom were opened to the public. In addition, a small part of the former Imperial Villa was converted into a museum which allows visitors to appreciate topographical models which illustrate the ecology, and geology which are found in Nikko National Park.

Open:8:00 a.m. to 5:00 p.m. (April 1st-October 31st)

9:00 a.m. to 4:30 p.m. (November 1st-March 31st)

[Open every day throughout the year]

Entrance fee: Adults:400 yen Children (Elementary and Junior High School):250 yen

Address:8-27 Honcho Nikko, Tochigi

Telephone:0288-54-1632

新年のごあいさつ



理事長
田島
一郎

財団法人栃木県国際交流協会

新年明けましておめでとうございます。

皆様には日頃から、当協会の事業や運営にご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。お蔭様で7年目を迎えるました。

さて、県内には100を超える民間国際交流団体があり、それぞれが創意と工夫の中、熱心に活動しておられます。特にここ数年、様々な国際交流関連イベント等が県内各地で行われ、沢山の人が参加し、国際理解・国際親善のきっかけを作るようにになってきました。民間国際交流団体の皆様の多大なるご尽力に感謝申し上げます。

一方、在県外国人の増加に伴い、いろいろな問題が表面化してきている中で、昨年は、産業雇用安定センターが宇都宮市に開設され、南米からの日系人労働者のための労働問題の相談等が行われるようになりました。また、東京入国管理局宇都宮出張所が設けられ、従来浦和や東京等で行わざるをえなかった在留関係手続きが、近くでできるようになり、在県外国人の方にとても便利になりました。

このような「外国人にとって住みやすい環境づくり」が進みますと、栃木県の国際化は一層広がり、教育や文化、更には産業の発展につながることでしょう。

栃木県民と在県外国人が互いの理解と協調のもとに共生する時代が、もう目の前にきています。

特に、21世紀を担う若い世代が、身近な国際交流を通して、国際協力・国際貢献について真剣に考えるようになっています。当協会はそのような大切な芽を育てていきたいと考えております。

今年も皆様方のお力添えをお願い申し上げます。

Happy New Year.

As we stand poised before a new year, it would be inconsiderate of me to neglect expressing my sincere gratitude for all of your contributions in the seven years since the Tochigi International Association was established.

Now more than 100 Non-Governmental Organizations (NGOs) are assiduously at work within Tochigi realizing their creative visions. I would especially like to acknowledge these NGOs for the numerous international events of the past year which brought so many together in an atmosphere of international understanding and fellowship.

I am pleased to announce that several steps have recently been taken to cope with the unique challenges posed by the growth of foreign residents in Tochigi. 1994 saw the opening of a center devoted to remedying the dilemmas encountered by foreign workers from South America. Furthermore, a regional immigration bureau opened its doors in Utsunomiya so that foreign residents may have easier access to immigration services.

I truly feel that the cultivation of a livable environment for our foreign residents broadens our own international awareness, enhances our culture and the education of our children, as well as promotes industrial development.

We have embarked on an era in which both prefectural citizens and the foreign community are being drawn closer in mutual appreciation and respect. Such fraternity is imperative if we wish to acquaint the younger generations of the next century with all facets of internationalism.

I look forward to our cooperation.

Ichiro Tajima *I. Tajima*
Chairman of Directors
Tochigi International Association

Topic 国際理解・国際協力のための中学生作文コンテストで、矢板中学校の穂満章子さんが文部大臣賞を受賞！

第34回「国際理解・国際協力のための中学生作文コンテスト」(財団法人日本国際連合協会主催)が過日行われ、栃木県大会から推薦された矢板市立矢板中学校3年の穂満章子さんが、特賞の文部大臣賞に輝きました。

作文のタイトルは「HOLAの心」。穂満さんは父親の仕事の関係で、スペインのバルセロナに小学5年生から中学2年生までの3年3か月滞在しました。「『HOLA！』と気さくにあいさつするスペ



イン人は、広い心を持っていて、みんな仲良しという感じがします。日本人は国際理解を難しく考えているのではないかでしょうか」と話す穂満さん。スペインでは外国人に対し、いつも自然体で接しているが、日本人が外国人と接するときは相手に合わせようとするあまり、相手を尊重する心を忘れてしまっていると綴っています。「スペインではスペイン語で声を掛けられました。日本では外国人に日本語で声を掛けたいですね。」

歴史が好きな穂満さんは、将来、外国に行って外国人と一緒に仕事がしたいと話していました。受賞本当におめでとうございます。

外国人のための無料弁護士相談開催

去る11月15日、TIA研修室において、栃木県弁護士会との共催で「外国人のための無料弁護士相談」を開催しました。

「不当解雇、賃金不払いの被害にあった」、「私はペルー人だが、やはりペルー人の妻と離婚したいがどうしたらよいか」、「合法的に日本に滞在したいがどうすればよいのか」、「ブラジルへの往復航空券を買ったが、日本に戻る便が使えず新しく航空券を買う羽目になった。その分を返金してもらおうよう言ったが払ってくれない」等の外国人からの相談のほか、「フィリピン人の妻の子供(連子)を養子にしたい」などの日本人からの相談もありました。

相談は、TIAボランティア通訳者を介して行われました。

タイ王国から20名の青年が来県

国際協力事業団主催の「21世紀のための友情計画」で来日したタイ王国の青年116名のうち、20名が11月22日～12月1日、地方プログラムで来県しました。

受入れは「外国青年招へい事業実行委員会(事務局：栃木県婦人青少年課内)」が行い、ホームステイをはじめ、スポーツ交流、書道、生け花、県内企業及び施設見学等のプログラムをこなしました。



書道に挑戦するタイ青年



001:The Right Call for International Dialing

December 1

Drastic Rate Cuts on KDD international calls

To demonstrate that KDD is indeed "the right call for international dialing," we offer remarkably low new rates on 001 calls. For international communications, KDD is clearly a cut above the rest.

Comparison of new and old rates to major service areas(For one 3-minute call) (Unit:YEN)

Area	Discount Rates		Economy Rates		Standard Rates	
	New Rate	Previous Rate	New Rate	Previous Rate	New Rate	Previous Rate
U.S.A.(Mainland), Hawaii	360	400	480	540	600	670
Korea(Rep. of)	400	400	540	550	670	680
China, Taiwan	420	430	570	580	720	730
Philippines	480	480	650	660	800	810
Thailand	480	490	650	660	800	820
Pakistan	690	700	920	930	1,150	1,160
Brazil, Peru	770	780	1,030	1,040	1,290	1,300
United Kingdom	550	620	730	810	910	1,010
Australia	440	480	590	660	740	810

留学生情報

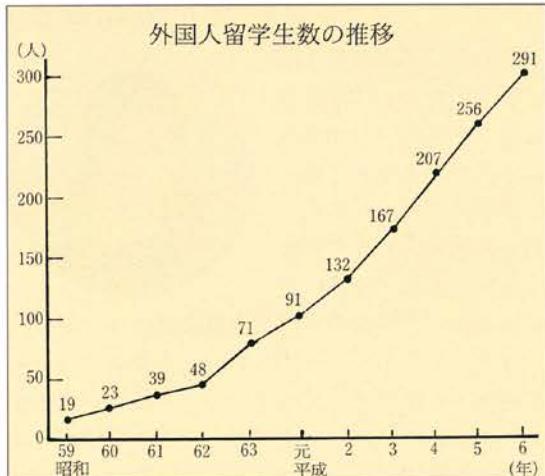
留学生数が10年間で15倍に

栃木県内の大学等の高等教育機関（以下大学と呼びます）に在籍する外国人留学生は、年々増加しています（右グラフ参照）。10年前の昭和59年の19人から、平成6年には約15倍の291人になりました。平成3年からは年間約50人ずつ増えています。文部省が昭和58年から進めている「留学生受入れ10万人計画」は、21世紀初頭までに全国で10万人の留学生を受入れる政策で、現在後期に入っています。栃木県内大学も、留学生受入れに積極的に取り組んでいることがわかります。

私費留学生が多い現状

次に、平成6年の県内各大学留学生についてみてみます。留学生数が一番多いのは、宇都宮大学の173人で、次いで白鷗大学36人、作新学院大学27人、足利工業大学21人、他となります。理系と文系に大別すると、理系が55%、文系が45%です。

文部省で進めている「留学生受入れ10万人計画」により、全国の留学生受入れ総数は5万人を超えるました。今回は、栃木県内の留学生について特集します。



留学形態は、国費留学生（日本政府が招聘）45人、私費留学生（個人が負担）227人、外国政府派遣留学生（本国が援助）15人、県費留学生（栃木県が招聘）4名で、私費留学生が約80%を占めています。（県費留学生には文化活動ビザで勉強している1人が除かれています）。

留学生にインタビュー

宇都宮大学工学部 徐 晓 曜さん（中国）



宇大工学部工学研究科博士課程3年で、物性工学を勉強している徐曉曦（30歳）は、中国四川省成都市の中国電子科技大学の修士課程を終え、同大学内の選抜試験にパスして、1989年10月、文部省国費留学生として来日しました。

「私の祖父はかつて東北大学医学部に留学していたので、私も日本に来てみたいと思っていました」と日本留学の動機を話す徐さん。日本滞在が5年になるので、日本語も上手です。

現在、文部省から滞在費として、月額183,000円が支給されています。「国費留学生は恵まれていると思います。研究が忙しくてアルバイトが

できません。アルバイトを通して日本のいろいろな社会をみたいのですが…」と残念そう。

一方、これまでの日本滞在で、生活上どんな問題があったかについては、「最初の1年半は日本語が分からず苦労しました。他の学生と話したりしてようやく覚えることができました。でも、もっと大変だったのはアパートを探したとき。なかなか見つからず不動産屋さんを10軒以上もまわりましたね」と話します。

徐さんの研究課題は「プラズマとマイクロ波の非線形相互作用」というむずかしい内容。実験機器も自分で設計し、毎日データを取りつづけています。「3月に卒業予定です。今、卒業論文を書いています。せっかく留学したのだから、中国においてはできないような研究成果をもって帰国しないと、大学に戻って先生になれません。中国でも研究を続けたいです。」

3年前に奥さんを日本に呼び、今は、生後3カ月の赤ちゃんと3人暮らし。残り少ない日本滞在ですが、勉強頑張ってください！

95%がアジア出身

更に、出身国別にみると、中国が144人で、全体の約半数を占めています。次いで台湾、マレーシア、韓国、インドネシアと続き、アジア出身の留学生が、全体の95%を占めています。日本が地理的に近いことや、『ルック・イースト』政策等で日本が注目されているのも理由のひとつでしょう。

アフリカからは、チュニジアやジンバブエ、また、中東からはイラン、南米からはブラジルから数名が留学しています。

出身国別留学生数

国名	人数
中國	144
台灣	46
馬來西亞	34
韓國	24
印度尼西亞	11
泰國	6
斯里蘭卡	5
伊朗	4
巴西	4
智利	3
孟加拉	3
斐濟	2
津巴布韋	1
肯亞	1
印度	1
巴基斯坦	1
法國	1
合計	291

奨学金で勉強する私費留学生

国費留学生は月額約18万円、外国政府派遣留学

生は約11万～17万円、また、県費留学生は17万円を、それぞれ滞在費として受け取っていますが、私費留学生はこのような公的機関からの援助がないため、民間の奨学金制度を利用しているのが現状です。

文部省の外郭団体である日本国際教育協会をはじめ、ロータリー米山記念奨学会等の団体から月額5万～15万円の奨学金を、36%の私費留学生が受けています。その他、栃木県が実施している「図書教材費支援金」があり、奨学金の受給月額が10万円以下の留学生に対し、年間12万円（月額1万円）が支給されています。

日本語講座等で日本語学習

留学生の日本語能力の向上のため、また日本事情等の理解のため、日本語講座や日本語授業科目を設置している大学があります。必修・履修科目として単位が取れることもあり、留学生にとって日本語学習の場となっています。

〔資料提供：栃木県地域留学生交流推進協議会〕

留学生にインタビュー



白鷗大学経営学部 LIM SOCK TIANGさん（マレーシア）

マレーシアのペナン市出身のリム・ソク・ティアンさん（24歳）は、白鷗大学経営学部国際経営コース4年に在籍する私費留学生。同市の高校を卒業し、1989年7月に来日しました。

「当時、マハティール首相が『ルック・イースト』を提唱し、日本の方がマスメディアを通じ盛んに紹介されていました。日本はどういう国なのか、どんなふうに発展したのか勉強したくて留学を決心しました。」最初の1年間は東京の日本語学校で日本語の勉強に専念しました。来日前まったく話せなかった日本語が、1年間で大学留学の基準まで上達。白鷗大学の入試に無事合格し、1991年の4月に入学しました。

リムさんは私費留学生なので、学費から生活費まですべて自分で払っています。「来日以来清掃業のアルバイトをずっとやっています。きつ

いですが時給がいいので…。マレーシアからの仕送りは大学に入ってからありません。円高のため、たいした額にならなくなってしまったからです」と留学生活の苦労を話します。でも3年生から卒業までの2年間、ロータリー米山奨学会から月額12万円を受けることになり、かなり楽になったということです。

大学で日本人学生の友達はできたかの質問に、「最初は誰も話しかけてくれませんでした。それで自分から日本人学生に声をかけるようになり、1年たつと友達が増えました。とても親しい友達もでき、帰国時に一緒にマレーシアに招待したこともあるんですよ」と笑顔。友達との会話でいろいろな日本語を覚えたそうです。

この留学で自立の精神が養われたと語るリムさん。3月に卒業しペナンに帰郷したら、日本語が生かせる企業に入りたいそうです。「マレーシアでは日本語ができる人はまだ少ない。日本語が話せると就職に有利です」と目を輝かせていました。

こちら国際交流最前線

国際ソロプチミスト宇都宮

国際ソロプチミストは専門職または管理職にある女性たちが組織し、地域社会や国内及び国際的規模で様々な奉仕活動を行う団体です。国際的なプロジェクトとして「サイトセーバス」「12月10日アピール」「5—0プロジェクト」など、アジアの医療施設援助や世界各地で最も援助を必要としている国々の女性の教育訓練センターへの支援、その他、「災害救援基金」「女性の識字」などグローバルなプロジェクトへの連携援助を行います。同時にフレンドシップリンクスを結び、国際理解交流活動を進めます。国際ソロプチミスト宇都宮は、スウェーデンのランズクローナークラブ、及びハワイのコナクラブとフレンドシップリンクスを結び、それぞれの国のクラブと情報交換を行っています。

また、地域に根ざした奉仕活動はソロプチミス

トの原点です。国際理解と活動委員会が主にその奉仕活動に当たります。県内在籍留学生への経済的支援、鳥山難民へのクリスマスプレゼント、難民問題への理解活動プログラム、伝統文化への鑑賞会やスピーチ等です。

本年度は、「ソロプチミスト・ユースフォーラム」の年です。青少年にその能力を開発し、指導力を育成する経験の場を提供します。宇都宮地域から多くの学生さんや若人が参加されることを望みます。



▲県内留学生との交歓会

内地留学外国語体験者 真岡市立真岡東中学校 野沢美知雄 教諭



内地留学は、小学校から高校までの教員が、3か月から1年間(主に6か月間)一般教科や特別活動等について、大学や一般企業で研修する制度です。

真岡市立真岡東中学校の野沢美知雄教諭(33歳体育専門)は、平成6年4月~9月の6か月間、宇都宮大学でポルトガル語の研修を受けました。

「私の学校にはペルー人子女がいます。私もときどき特別教室で教えていました。以前から語学に興味をもっていましたが、ある日、校長先生からポルトガル語の内地留学の話があり、喜んで受け

ることにしました」と動機を語ります。

宇大での勉強の他に、週2回日系ブラジル人等の先生に、ブラジルの小学校の教科書などを用いて教わりました。その他、外国人への日本語の教え方も勉強しました。プログラムの最後は、メキシコとブラジルへ行き、学校や教育委員会を訪問して両国の教育事情を学んできました。「学校中心の生活から離れて勉強でき、いろいろな視点で子どもをみたり教育そのものを考えることができました。研修を通して、外国や外国人と接し、文化や歴史を感じました」と内地留学の感想。

研修で学んだことを生かして、これからも外国人子女への教育に頑張ってください。



宇都宮↔成田空港

空港ターミナル出発ロビーへ 2時間50分！ 毎日6往復・4000円

▶JR宇都宮駅西口関東チサンホテル前 16番のりば

▶宇都宮発 5:10 6:10 8:30 10:10 12:00 14:00

▶往路：宇都宮→成田空港第2ターミナル(3F)→第1ターミナル(4F)

ご予約・お問合せ ☎0286-38-1730 または関東バス各営業所へ 関東バス

直通高速バス マロニエ号

▶成田空港 第2ターミナル 1階 到着ロビー 9番のりば
第1ターミナル 1階 到着ロビー 6番のりば

▶成田空港発 8:30 14:40 15:40 17:00 18:10 19:40

▶復路：成田空港第2ターミナル(1F)→第1ターミナル(1F)→宇都宮

国際交流Q & A

(厚生年金脱退一時金・パートⅠ)

Q. 近々帰国をしようと考えているブラジル人から厚生年金脱退一時金について聞かれました。詳しく教えてください。

A. 厚生年金保険法の改正により、条件付きで外国人に脱退一時金が支給されることになりました。原則として①日本国籍を有していない者②厚生年金保険料を6ヵ月以上納めていた者③日本に住所を有していない者④年金(障害手当金を含む)を受ける権利を有したことのない者の4条件全てに該当する者が出国後2年内に請求した場合に支給されます。施行期日は平成7年(1995年)4月1日ですが、平成6年11月9日から平成7年3月31日の間に日本国内に住所を有しなくなった者でなくかつ同年4月1日において日本国内に住所を有しない者は、施行期日から2年内に請求できます。

■足利市で'95ニューイヤーパーティー

▷日時=平成7年1月22日(日)16:00～ ▷場所=足利市地場産センター ▷内容=餅つき、各国民族衣装紹介、各国料理他 ▷問い合わせ=足利市国際交流協会事務局☎0284-21-1141(内線578)

◆'95 NEW YEAR'S PARTY IN ASHIKAGA

Date & Time : Sunday January 22, 1995 from 4p.m.
Place : Ashikaga Jibasan Center
Activities : rice cake making, introducing folk costume and dishes etc. For more details, please call the Ashikaga International Association at 0284-21-1141 ext. #578.

■鹿沼ワールドフェスティバル'95開催

▷日時=平成7年1月29日(日)13:30～ ▷場所=鹿沼商工会議所・催事ホール ▷内容=アフリカ現代音楽演奏、世界の料理(タイ、バキスタン他) ▷参加費=無料 ▷問い合わせ=鹿沼市国際交流協会事務局☎0289-63-2264

◆'95 Kanuma World Festival

Date & Time : Sunday January 29, 1995 from 1:30p.m.
Place : Kanuma Chamber of Commerce and Industry
It's free of charge and you can enjoy modern African music and foreign dishes. For more details, please call the Kanuma International Association at 0289-63-2264

NEWS 国際ガイドコンテスト開催

日本在住で日本語を母国語とする人による「第5回国際ガイドコンテスト」(財団法人とちぎYMC A主催)が、平成7年2月19日(日)13:00～16:00、宇都宮市東コミュニティーセンターホールで開催されます。このコンテストは、国際語である英語で、日本の文化、伝統、芸術等を紹介するものです。入場は無料ですので、どうぞお越しください。

なお、出場希望の方は下記のとおり募集していますので、ご応募ください。

▷応募方法=①申込用紙(写真添付) ②カセットに録音したガイド(6分以内) ③その原稿A4サイズ(ダブルスペースでタイプしたもの)を郵送 ▷郵送先(連絡先)=とちぎYMC A〒320 宇都宮市松原2-7-42 電話0286-24-2546 ▷応募締切り=平成7年1月9日(月)

協会日誌(1994.12.1～1995.1.31)

- 12/ 2 青年海外協力隊員協会表敬訪問 (協会事務局)
12/ 4 國際連合公用語・英語検定第2次試験 (コンセーレ)
12/8～9 北関東三県国際交流協会連絡会議 (ホテルたかはら)
12/13 浙江省金華市友好訪問団協会表敬訪問 (自治会館会議室)
12/15 「とちぎインターナショナルフェスティバル'94」反省会 (コンセーレ)
12/18 青年海外協力隊秋募集第1次選考試験 (宇都宮市総合コミュニティセンター)
12/28 御用納め
12/29～ 年末・年始休暇
1/ 4 御用始め
1/24～ 地域国際化協会職員海外研修(～2/4)
1/26 栃木県高等学校国際理解弁論大会 (教育会館)
1/28 賀詞交歓会 (コンセーレ)
1/30 栃木県監査委員本監査 (栃木県庁)

TIA Information Corner

東京入国管理局宇都宮出張所開設

東京入国管理局では、宇都宮市に出張所を設け、①在留資格の取得及び変更、②在留期間の更新、③資格外活動及び永住、再入国許可 ④行政相談、の業務を行うことになりました。

▶ 業務日=月～金曜 ▶ 業務時間=9:00～12:00 13:00～16:00
▶ 所在地=宇都宮市駒町9番地 ▶ 電話=0286-38-2010
▶ 交通機関=JR宇都宮駅西口駅前バス停10番「長坂経由新鹿沼(バス番号43)」行き乗車「宇都宮学園前」下車

~THE OPENING OF THE UTSUNOMIYA BRANCH OFFICE OF THE TOKYO REGIONAL IMMIGRATION BUREAU~

A new branch office was opened in Utsunomiya to provide the following services:

- ① Extension of period of stay
- ② Permission to acquire or change status of residence
- ③ Re-entry permission
- ④ Consultation for residence procedures
- ◆ Open: Monday through Friday from 9:00a.m. to 4:00 p.m.
(except noon to 1:00p.m.)
- ◆ Address: 9-Banchi, Mutsumichio, Utsunomiya-shi, Tochigi-ken
- ◆ Telephone: 0286-38-2010
- ◆ Transportation: Take the bus 「43 Nagasakakeiyu-Shinkanuma」(bus depot Number 10 from JR Utsunomiya Station West Exit to Utsunomiya-gakuenmae bus stop.

ABERTURA DA AGENCIA UTSUNOMIYA DO DEPARTAMENTO DE IMIGRAÇÃO DE TOKYO

O Departamento de Imigração de Tokyo inaugurou a Agência Utsunomiya para oferecer os seguintes serviços: ① Aquisição de visto, Mudança de status de visto; ② Renovação de período de permanência; ③ Autorização de atividade além do permitido, Visto permanente, Permissão de re-enter; ④ Consultas relativos a Imigração.

編集後記

○さて、当機関紙「とちぎ国際交流」は愛読？されて早6年たちました。平成7年度からサイズをA版にし、内容もより充実しようと思っています。そこで、まずタイトル「とちぎ国際交流」を変更する予定ですが、何か「これは！」というような機関紙名がありましたら、ハガキにてTIAまでお送りください。採用者には粗品をプレゼントします。

栃木県交響楽団

〈第58回定期演奏会〉

指揮：中村ユリ サクソフォーン：須川展也
プロコフィエフ／ロメオとジュリエット組曲より
グラズノフ／サクソフォーン協奏曲
ゲーゼ／交響曲第一番（日本初演）

1995年2月5日〔日〕PM2:00 ▶ 宇都宮市文化会館大ホール
全自由 一般¥1,000 小・中・高生¥600
宇都宮市内プレイガイドにて前売 お問い合わせ 事務局☎0286-23-3422
(デンマーク大使館後援)

◆Atendimento: de 2a. à 6a. feira ◆das 9:00 às 12:00 e das 13:00 às 16:00 hs. ◆Local: Utsunomiya-shi, Mutsumichio 9 banchi. ◆☎0286-38-2010. ◆Meio de transporte: tomar o ônibus "Nagasaki Keiyu Shin-Kanuma" No.43, na Plataforma 10, da Saída Oeste da Estação JR de Utsunomiya e descer na parada "Utsunomiya Gakuen-mae".

APERTURA DE SECCION DE INMIGRACION DE TOKYO - AGENCIA UTSUNOMIYA

Sección de Inmigración de Tokyo estableció una Agencia en Utsunomiya para obtener los siguientes trabajos: ① Adquisición y cambio del permiso de la estancia en el país; ② Renovación del permiso de la estancia; ③ Actividad fuera del requisito, Visa permanente, Permiso de re-enter; ④ Consultas relativos a la Inmigración.

◆Operación: desde el lunes hasta el viernes ◆desde las 9:00 hasta las 12:00 y desde las 13:00 hasta las 16:00. ◆Dirección: Utsunomiya-shi, Mutsumichio 9 banchi. ◆☎0286-38-2010.

◆Medio de transporte: tomar el autobús "Nagasaki Keiyu Shin-Kanuma" No.43, en la parada No.10 del lado Oeste de la Estación JR Utsunomiya y bajar en el punto "Utsunomiya Gakuen-mae".

开设東京入国管理局宇都宮代办处

東京入国管理局在宇都宮设立了代办处

办理的业务范围。①在留資格の取得和変更。②在留期間の更新

③資格外以外の活動和永住、再入國の許可 ④行政相談

业务日：星期一～星期五

业务时间：9:00～12:00

13:00～16:00

地址：宇都宮市駒町9番地

电话：0286-32-8135

交通工具：请在JR宇都宮车站西口、车站前的10号公共汽车站牌乘坐43路、开往「長坂経由新鹿沼」的公共汽车、在「宇都宮学園前」的站牌下车。

●ご案内図



財団法人栃木県国際交流協会では、各企業・団体からのご出捐をお願いしております。当協会の事業にご賛同下さるみなさまのお力添えをよろしくお願い申し上げます。